日本共産党の地域新聞　発行所：日本共産党夕張市委員会　夕張市千代田２番地の２　TEL &FAX　52-3097　2013年1月20日（日）1444号

民報ゆうばり

# 第4回定例市議会開催

# 安心・安全で地域資源を活用するまちづくりを！

昨年12月19・20日の両日、第４回定例議会が開催されました。20日、質問にたったくまがい桂子市議の、質問と答弁の概要をおったえします。

## 『安心・安全のまちづくり』について

◆　◆　◆　◆

**質問：ハザードマップ作成の進捗状況は。**

答弁：国・道との三者協議の中で、重要性について認識し協議をすすめている。ハザードマップは被害の低減にもつながると考えているので、関係団体と連携しながら取り組んでいく。急を要するものについては、何らかの形で周知したい。

市民の立場にたち質問するくまがい市議

**質問：停電時、概要を知らせる方法は。**

答弁：冬期間の長時間の停電は命にかかわるので、住民への情報提供は重要。緊急を要する場合は広報車で告知をする等対策を構築する。

**質問：「市立診療所の建て替15年先延ばし」報道について**

答弁：今年度中に医療保健対策協議会で結論を出すための選択肢。協議会の最終答申を踏まえ、市が結論を出す。

**質問：透析治療患者が40人いる。市立診療所の診療科目に加えるべきでは。**

答弁：保健医療対策協議会で協議していただく。

**質問：介護予防の必要な高齢者996名への対応と、予防事業への参加率を上げるための創意工夫を。**

答弁：予防事業参加は2名のみで、ほとんどの対象者が「必要ない」という答え。引き続き家庭訪問などでチラシ等で情報提供や、民生委員の見守り等の継続、予防事業参加に向け、さらなる工夫をしたい。

**質問：障害を持った市民が安心して暮らすための政策は。**

答弁：早期発見、早期支援が極めて大事。発達障害、乳幼児相談、関連機関の連携、個別ケース会議を行っているのでそこでの検討、切れ目のない支援、対応の充実をはかっていきたい。

**質問：ワンストップ窓口の設置、周知を。**

答弁：いろいろな悩みごと、あらゆる相談に対応する窓口を保健福祉課に設置し、各課と連携をはかり、関係機関・地域の連携で対応している。23年度52件、24年度11月末で41件の相談。周知不足を反省し、今後改善したい。

## 歴代の総務大臣が認めた「財政破たんの国や道の責任」を忘れず、国・道との協議を

## 地域資源の活用について

**質問：地域の特徴を生かした自然エネルギーを活用し、雇用創出を。**

答弁：国や道の積極的推進を求めていく。夕張には、他に豊富な未利用地下資源、石炭や天然ガスなど、産業として大きな可能性が期待され、民間からの問い合わせもある。自民党の選挙公約には「国内エネルギー、鉱物資源の自主開発等の促進を着実に進める」とあるので、新政権に積極的なエネルギー開発の促進について、しっかりと働きかけをしていく。エネルギー庁は、いかに安定的に安いものを輸入するのかが柱と考えているが、自国の石炭や付随する天然ガスの優位性について述べ、民間活力をいかすために、民間企業の後押しになるような補助事業の創設や、低コストになるような技術革新に向けた実証実験の継続・調査研究機関の誘致などをできないかと考えている。他の産炭地とも一致して、訴えを継続していきたい。

**質問：シューパロダム周辺整備として、市民の貴重な資料・標本、写真などを活用・掲示できるようなスペースを。**

**質問：森林資源で雇用創出を。**

答弁：市内96％の面積を森林が占めるが、ほとんどが国有林で、市有林はそのうち4％。歩団地の市営住宅の材料9割に市有林のカラマツ材を利用し、市内の業者に仕事を回すことができた。今後は一般住宅の建設やリフォームにも利用が期待される。市有林で適切な施業を行うための、道・国の補助事業による林道の整備などで、雇用の維持を図っていきたい。国は32年度までに木材自給率50％を目標にしているので、9割を占める国有林の活用についても、しっかりと要望していきたい。

## 豊かな自然環境・生態系の保全を活用するまちづくり（ダム周辺整備）について

（2ページへ続く）

（1ページから続く）

答弁：シューパロダム周辺整備計画は、H22年、駐車場が眺望の良いところに整備が完了した。ダム施設に見学者のためのトイレの整備、湖面活用の要望があるが、トイレはダム管理事務所のトイレを見学者のために一般開放する予定。湖面利用については、安全に使用できる場所の選定・協議を行っており、自然体験活動の場としても有効な活用が図られるよう、引き続き関係者と協議を続ける。ダム建設事務所の一部を活用して、地域の歴史・貴重な自然の資料等を展示し、見学できるよう要請し、検討中。今後も意見交換しながら、市民の声を反映していきたい。

**―以上の質疑応答の後、「いずれの事項も市民の強い要望がある。歴代の総務大臣が財政破たんについて国や道の責任があると認めていることを忘れずに、国と道との協議にあたっていただきたい。」と述べ、質疑を締めくくりました。**

## 新婦人夕張支部

## 事務所開き！

1月14日、新日本婦人の会夕張支部は、16名の参加で新年の事務所開きを行いました。

新婦人は昨年50周年を迎え、今年は新たな一歩を踏出す一年となります。参加者は、『今年も元気に楽しく運動を広げていきましょう』と皆で誓い合い、会員の差し入れやお雑煮に舌鼓をうち、またビンゴ大会や被災者支援のバザーなどで楽しく賑やかに交流しました。

「夕鹿の湯」オープン！

夕張青年会議所新年交礼会　矢野雅也理事長

## 良い年を願って！

商工会議所新年交礼会　「夕張太鼓竜花」の演奏でオープニング

## －新成人晴れやかに集う－

１月１３日、夕張でも成人を祝う「成人祭」が行われました。

会場前では、くまがい桂子市議が、新成人に「ご成人おめでとうございます」と声をかけながらお祝いのチラシを一人ひとりに手渡しました。

あいにくの吹雪の中でしたが、会場には約５０名の新成人が、勇壮な夕張太鼓で迎えられ集いました。

## 国会「かけある記」

日本共産党　参議院議員

# 紙　智子

### 「たたかいを応援し、選挙勝利を誓う」

年明けから、北海道、東北へと各地の新年の行事に参加しています。

12日は宮城県塩釜市で行われた党と後援会の「新春旗びらき」に、6日発表されたばかりの宮城県選挙区予定候補のいわぶち彩子さんと一緒に参加しました。

いわぶち彩子さんは、現在29歳、7月に30歳になり被選挙権を獲得するそうです。まさにフレッシュ！日本共産党の素敵な候補です。

さて会場は、総選挙の議席確保への喜びと同時に、胸に迫る話がありました。ソニー労組仙台支部のたたかいは、震災を口実にした雇い止めを会社に事実上撤回させ、さらに正社員として再就職するまで会社に責任を果たさせるたたかいを行って、赤旗でも紹介されました。その組合員のみなさんが参加し、支援に感謝をのべました。同時に、またしても一万人のリストラ計画を打ち出したソニーで、今度は正社員への肩たたきを始めています。

当事者の方が参加し、「突然会社から、やめてほしいといわれ、幼い子どももいるのでやめられないと断ったが、執拗に迫られ悩んでいた。そこにソニーの松田委員長から、組合に入ってたたかう道もあるよと言われ、考えた結果、たたかう道を決断しました！」と語りました。会場は「頑張れ！応援するぞ！」と熱烈な拍手と声援の渦となり、私も胸がいっぱいになりました。

このたたかいを支えるとともに、選挙での勝利を胸に誓いました。